実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和 8 年度
助成団体	特定非営利活動法人オーキック
事業細目名	総合型地域スポーツクラブ活動基盤強化
事業名	オーキック活動基盤強化事業
助成金額	893,000 円
事業細目名	総合型地域スポーツクラブマネジャー設置
事業名	オーキッククラブマネジャー設置事業
助成金額	1,555,000 円

総合型地域スポーツクラブ活動助成で、活動基盤強化事業・クラブマネジャー設置事業を行っている総合型地域スポーツクラブ「特定非営利活動法人オーキック」の調査を実施しました。特定非営利活動法人オーキックは令和７年に設立された総合型スポーツクラブで、現在 33 名の会員が在籍しており、サッカー、グラウンド・ゴルフ、モルックの活動を行っています。大阪府堺市や大阪市を中心に活動しており、クラブマネジャーも２名配置しているとのことでした。

調査当日はモルック教室を見学しました。モルック協会との連携により招へいした指導者による見本を参考にしながら参加者 4 名がゲームを行っており、倒したピンの点数を競い、楽しみながら行っている様子が確認できました。

■助成の意義

くじ助成を受けたことで、教室に必要なスポーツ用具の購入や指導者手配、会場借料の費用を確保できるようになったため、新規種目の検討が可能となったと伺いました。また、SUP（スタンドアップパドルボード）の実施に向けて準備を進めており、そのために必要な費用にくじ助成金を活用することを検討しているそうです。さらに、チラシの製作・配布により、地域における総合型地域スポーツクラブの認知度向上および参加者増加の期待ができるそうです。

■事業効果を高めるための取り組み

今回、見学を行ったモルックについては助成対象となっている定期教室のほかに、行政と連携して大阪市の公園活用事業である「PARKJAM」を活用した、モルック大会の開催を計画しており、その参加者を定期教室に呼び込むことを検討しているそうです。また、モルック教室が行われている会場は芝生広場等が併設されていることもあり、散歩をしている地域住民等の利用者が多い施設のため、モルック教室の様子を見学されていることも多々あるそうです。そのため、会場付近にチラシの配布場所を設置するなどして参加者の増加を図っているとのことでした。

さらに、行政や他クラブとの交流や情報交換も積極的に行われていました。特に、部活動の地域展開の取り組みに対応するために、隣接するクラブのクラブマネジャー間にて情報共有を行い、効果的な事業推進に向けた準備を進めているそうです。

■所感

今回調査した特定非営利活動法人オーキックは、行政と連携しながら大会の開催をすることでそこから定期教室への参加を促したり、地域の方々の口コミをもとに定期教室の参加者を増やす取り組みを行ったりと、総合型地域スポーツクラブとしてスポーツを通して地域を盛り上げようとする姿勢が印象的でした。また、クラブとしても新しい種目の開設を検討したり、部活動の地域展開を見越して情報収集を行ったりすることで、クラブの拡大を見越した動きを感じることができました。

今後も、地域の方々がスポーツを楽しめる場としてクラブが発展していくことを期待しています。

（令和８年９月２日往査）

（写真）モルック教室の様子	
	